

県下の交通事故

(平成12年1月10日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷者
平成11年		141件	3人	207人
平成12年		144件	3人	182人
比較		+3件	±0人	-25人



◇ 第131号 ◇  
 発行所  
 〒400-0031 甲府市丸の内一丁目9-11  
 県民会館2階  
 財団法人 山梨県交通安全協会  
 山梨県交通安全活動推進センター  
 TEL (055) 232-4682

# 迎春



平賀幸三氏撮影

新年おめでとうございます。  
 平成十二年のすがすがしい新春をご家族お揃い  
 でお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃、皆  
 様には、悲惨な交通事故をなくし、安全で住みよ  
 い地域社会の実現をめざし、交通安全活動に献身  
 的なご尽力されておりますことに深く敬意と感謝  
 を申し上げます。  
 本年は、本会が設立されて七十五年目、また財  
 によりまして、年間の事故死者を、八十三人に大  
 幅抑止するという近年では類例を見ない最小人員  
 に抑え込む快挙をなし遂げました。  
 本年は、この成果にゆるむことなく、これを持  
 続させ、さらに前進させていかなくてはなりません  
 んが、そのためにはそれぞれが、命の尊さを再確  
 認し、車社会に生きる者の義務である交通ルール  
 とマナーを守ることが最も大切です。



## 総力あげて今年も交通安全

山梨県交通安全協会長 堀内光雄

団法人に認可されてから三十年という大きな節目  
 を迎えた大変意義深い年であります。  
 本会が、永年にわたり交通安全諸活動の推進を  
 図り、県内の交通事故防止に貢献できましたのは  
 ひとえに、関係機関・団体はもとより、県民の皆  
 様のご支援、ご協力の賜ものでありまして、心か  
 ら厚く御礼申し上げます。  
 さて、昨年の県内の交通事故は、県警察をはじめ  
 め、関係機関・団体の皆様方の積極的な取り組み  
 本会は、交通安全を推進する民間の中核的ボラ  
 ンティア団体として、本年も組織の適正な運営管  
 理に努めますとともに、各種交通安全運動や広  
 報啓発活動等を積極的に推進して、交通事故防止  
 に寄与する所存でありますので、なお一層のご理  
 解とご支援をお願い申し上げます。皆様方のご健  
 勝とご多幸を心から祈念申し上げます。挨拶とい  
 たします。

輝かしい平成十二年を迎え、謹んで新年のご挨拶  
 を申し上げます。  
 県民の皆様におかれましては、平素から家庭、  
 職場、地域で交通事故防止に大変なご尽力いた  
 いておりますことに対しまして、心から感謝申し  
 上げます。  
 さて、最近の交通情勢は、都市部を中心とする  
 慢性的な交通渋滞や道路交通騒音、自動車交通に  
 起因する大気汚染、地球温暖化問題、交通事故の  
 ・歩行中の高齢者事故が多かったこと  
 ・若者による事故が多かったこと  
 ・車両単独による事故が多かったこと  
 ・シートベルトの着用率が低く、着用していれば  
 生命は助かったと思われる事故が多かったこと  
 などが挙げられます。

## 交通死亡事故減少対策にご協力を



山梨県警察本部長 秋山征司

多発等、国民生活に深刻な影響を与える問題が山  
 積しているところであります。  
 こうした情勢の中で、昨年の本県における交通  
 事故による死者は八十三人で三年連続していた百  
 人以上の死者を、「二桁台」に抑止することが出来  
 たのであります。  
 さて、昨年の交通死亡事故の特徴を見ます  
 と  
 を活動の重点とし、交通安全協会をはじめ各種関  
 係機関、団体との連携を図る中、県民一人ひとりの  
 の交通安全意識の高揚と交通事故防止を図り、県  
 民の皆様を交通事故の惨禍から守っていきたく  
 考えております。  
 県民の皆様のお一層のご協力をお願い申し上  
 げます。



# 死亡事故、大幅減る

## ～平成11年～ 昨年比25人の減

平成十一年中の県内の交通事故発生状況は、発生件数六千六百二十六件、死者数八十三人、負傷者数八千七百八十四人でした。交通事故死者数は、県警察・交通安全協会等の目標でもありました死者数二桁台確保は達成できましたが、発生件数は昨年と比べ、五十二件増加してしまいました。

県内の死者数の状況は若者十七人、高齢者が三十人と、両者で死者数の半分以上が占められています。

今年も、さらに心を引

き締めて一件でも事故を減らし明るい社会を実現したいものです。

**事故防止は安協の力で 県安協臨時役員会**

県交通安全協会では、一月七日、甲府市内の古名屋ホテルで臨時役員会を開き、平成十二年の交通安全の推進方法等について協議しました。

会議では、堀内光雄会長が「昨年は県警本部や県安協等の機関、団体が連携を強化して交通安全の各種事業を推進したため、死者を八十三名に抑



臨時役員会での交通安全推進方法の協議の様子。

止するという過去に例を見ない成果をあげた。この快挙を継続するため、役員の方々が中心となり新たな発想で効果的な交通事故防止対策を図ることが必要なので一層の尽力を願いたい」と強調しました。

続いて議事に入り、補正予算(案)や平成十二年交通安全推進県民大会を一月十八日に開催する議案等を審議して可決したあと、平成十二年中の交通安全活動の進め方等について協議し、年間の重点推進事項等を決議しました。



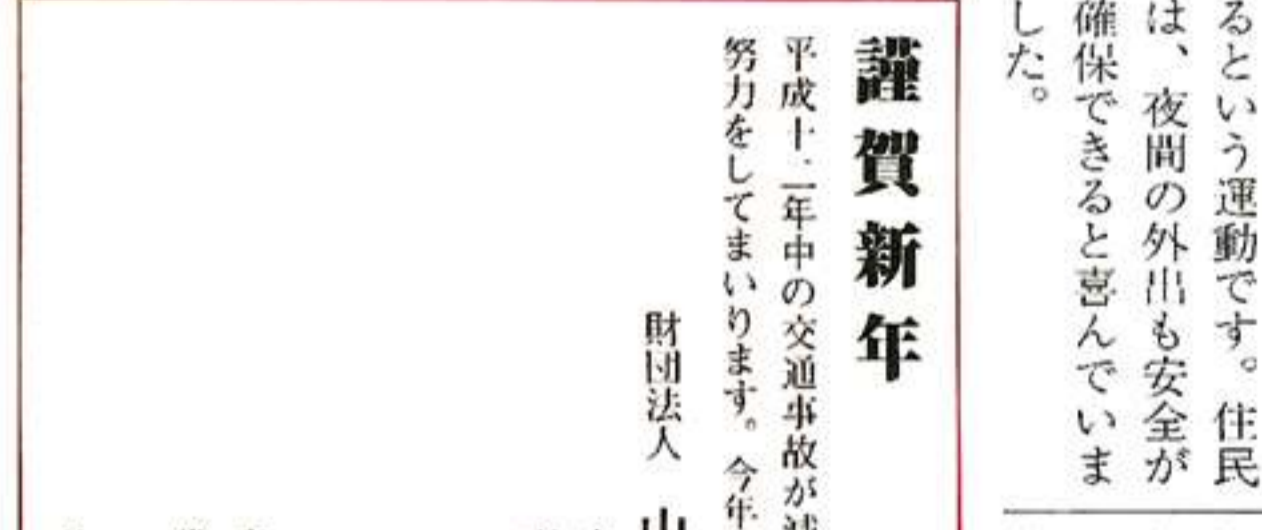
交通安全協会での交通安全活動の誓いの式。

**交通安全協会 減少を祈願**

県交通安全協会では一月七日、武田神社で、今年度の交通安全活動の誓いの式を行いました。

当日は、県警交通部幹部、県安協の役員、交通機動隊員、高速道路交通警察隊員ら五十人が参加しました。

拝殿では、野中交通企画課長と堀内会長が玉串を捧げ、参列者一同平成十二年の交通事故減少を祈願するとともに、交通安全の諸活動にも一層の努力をしていく決意を新たにしました。



交通安全活動の誓いの式の様子。

**地区だより**

**南甲府安協**

チャイルドシート講習会

南甲府交通安全協会(山下讓二会長)は、チャイルドシート着用講習会を十一月九日、中道町福祉保健センターアネシスで行いました。実際に子供を座らせ取付け方を保護者に体験させ、固定クリップの使用方法を説明し、誤った取付けや、間違えやすい取付け方法を見せ、正しい使用方法の指導を行いました。

**謹賀新年**

平成十一年中の交通事故が減少することを願い一層の努力をまいります。今年もよろしくお願いたします。

財団法人 **山梨県交通安全協会**

会長 堀内光雄  
副会長 山下道男  
秋山吉治  
八木友規  
植野友規  
山寺嘉一郎  
山寺嘉一郎  
常務理事 奈良田幸夫  
専務理事 橋本保貴  
常務理事 橋本保貴  
他理事・評議員一同

「第40回交通安全全国国民運動中央大会」が一月十二、十三の両日、東京・日比谷公会堂で開催されました。

この大会は、全日本交通安全協会と都道府県交通安全協会の主催で総務庁、警察庁、運輸省等六省庁二団体の後援により、交通事故の防止は、国民一人ひとりが交通徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという、自覚と実践を目的として、決意を新たに、なお一層強力な国民運動を展開しようとする大会です。

大会一日目は、分科集會が行われ、全国各地で交通事故防止活動に取り組んでいる約六百人が出席し、地域・家庭部会、



渡辺典行氏



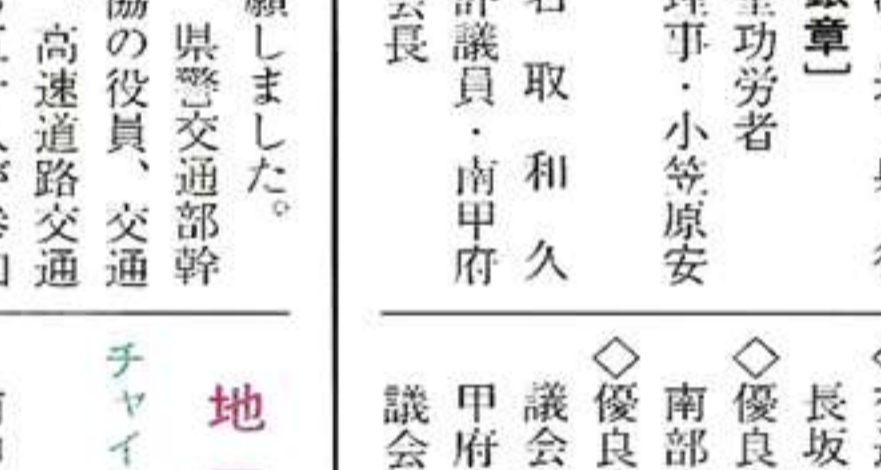
一ノ瀬久則氏



北條繁友氏



名取和久氏



三澤市雄氏



望月武雄氏

**緑十字金章** (功労者) **一ノ瀬久則氏**  
(優良運転者) **渡辺 典行氏**

**第40回交通安全全国国民運動中央大会**

交通安全教育部会、企業部会の三部会に分かれ、日ごろの活動状況をもとに意見発表が行われました。特に、本年は、地域・家庭部会で、大月安協副会長の志村きよ子婦人部長が「高齢者・子供の交通事故防止について」という演題で意見発表をして好評を得ました。二日(金章)

**交通安全功労者** (銀章)

はじめに、交通事故犠牲者に対する黙祷を捧げ、続いて、全日本交通安全協会平岩外四会長があいさつし、次に常陸宮殿下(金章)

**交通安全功労者** (銀章)

最後に、分科集會で採択された大会宣言が発表され、決意を新たに大会は終了しました。

本県関係の受賞者は、

**優良運転者**

次のとおりです。

〔緑十字金章〕

- 交通安全功労者 県安協監事 一ノ瀬久則
- 優良運転者 旅館「笛声」勤務 望月武雄氏

**優良運転者**

〔緑十字銀章〕

- 交通安全功労者 県安協理事・小等原安協会長 名取和久
- 県安協評議員・南甲府安協副会長 望月武雄

**優良運転者**

- 交通安全優良団体部門 東京エレクトロン株式会社 山梨事業所
- 交通安全優良事業所 株式会社エノモト
- 交通安全優良学校 長坂町立長坂中学校
- 優良交通安全協会 南都交通安全協会
- 優良安全運転管理者協会 甲府安全運転管理者協議会

**優良運転者**

- 県安協理事・日下部安協会長 三澤市雄
- 県安協評議員・富士吉田安協副会長 望月武雄
- 県安協副会長 望月武雄
- 望月武雄

**交通安全年間スローガン**

最優秀作 (内閣総理大臣賞) (運転者に対するもの) **新世紀になうこの子に** チャイルドシート

(歩行者・自転車利用者に対するもの) **無灯火の きみが見えない 夜の闇** (こども部門) **まもろうね みつつのいろのおやくそく**

**反射材ベタベタ作戦** 市川安協

市川交通安全協会(八木吉治会長)は管内五町村の約九千戸を対象に、「反射材ベタベタ作戦」を展開することになりました。このキャンペーンは、普段外出時に履いている靴に、「反射材シール」を貼付けて回るといった運動です。住民は、夜間の外出も安全が確保できると喜んでいました。

**監視指導所を開設** 甲府安協敷島支部

甲府交通安全協会敷島支部(近藤昭支部長)は、「交通事故防止監視指導所」を開設しました。安協役員は、シートベルト着用を連日呼びかけ、事故防止の面でも大きく実績を挙げよう、さらに交通事故防止対策を推進して行くこととし、積極的な活動を行っています。

指導所前でシートベルト着用の呼びかけ